『日本全国 なんでも ナンバーワン図鑑』

熊本 憲一 ・ 西下 聡一郎 編
スタジオタッククリエイティブ



日本で一番高い山はなんでしょう？そうです。富士山ですね。では、一番短い川はわかりますか？正解は、和歌山県にあるぶつぶつ川です。なぜぶつぶつなのでしょう…？

この本は、あらゆる日本のナンバーワンがのっている図鑑です。全部読んだら物知りナンバーワンになれるかもしれないですね。

『千年先の あなたへ』

佐藤 まどか 作　佐藤 真紀子 絵
ＢＬ出版



杏の姉、花梨は、半年間の見習いを終え、１０月から晴れて宮大工として働きはじめます。宮大工とは、神社や寺の建築や修理をする大工のこと。

花梨の仕事場で見学会があることを知った杏は、参加することにしますが、それは、花梨の棟梁のオニ度チェックをするためでもありました。

このリストは、２０２５年に出版されたなかから５・６年生におすすめの本を掲載しています。

品川図書館	北品川２－３２－３	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
二葉図書館	二葉１－４－２５	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
荏原図書館	中延１－９－１５	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
南大井図書館	南大井３－７－１３	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
源氏前図書館	中延４－１４－１７	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたか図書館	豊町１－１７－７	TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
大井図書館	大井５－１９－１４	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
五反田図書館	西五反田６－５－１	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
大崎図書館	北品川５－２－１	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
大崎図書館分館	大崎３－１２－２２	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
八潮図書館	八潮５－１０－２７	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
大崎駅西口 図書取次施設 （おおさきこども図書室）	大崎２－１１－１ 大崎ウィズシティテラス２階	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

休館（所）日、開館（所）時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの書影は、各出版社の許諾を得て使用しています。

2026.10　発行

よんでみたいな！

５・６年生



『この手は いつか』

中山 聖子 作
保光 敏將 絵
文研出版

品川区立図書館

『まるみかん大一番』

まはら 三桃 作
小学館



地元の図書館、通称「まるみかん」が閉館の危機にあることを知った６年生の研心。閉館をふせごうと友人たちと立ち上がります。市長や議会に働きかけるため、全校生徒に模擬投票をよびかけ、賛成派と反対派に分かれ、プレゼンをすることになるのですが…。

果たして、「まるみかん」を残すことはできるのでしょうか。

『おとうさんの ポストカード』

那須田 淳 作　中村 真人 監修
講談社

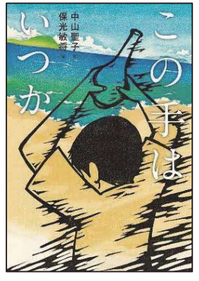


第二次世界大戦が始まる前のこと、ドイツではナチス党のアドルフ・ヒットラーが首相となりました。それからユダヤ人差別がひどくなり、当時６歳だったぼくは家族からはなれ、たった一人でイギリスに向かうことに。

おとうさんとは手紙でやりとりをすることになりますが…。

『この手は いつか』

中山 聖子 作　保光 敏将 絵
文研出版



真潮は夏休み前、クラスメイトがしていたあることをやめるよう注意した際に、相手に飛びかかってしまい、もめてしまいます。その後迎えた夏休みは萩焼の職人であるおじいちゃんの家で過ごすことになります。

萩焼や萩焼に関わる人たちと出会ったことで、真潮が成長していく物語です。

『絵で見る 日本の図書館の歴史』

奥泉 和久 監修　堀切 リエ 文　いしい つとむ 絵
子どもの未来社



みんなのまちにある図書館は、たくさんの本を好きなだけ読めて、だれもがゆっくりと時間を過ごせる場所。そんな図書館にはとても長い歴史があるんです。

だれがいつなんのために本を集めて保管しようとしたのでしょう。本が人々の間に広まっていく中で、どのように図書館へと進化していったのでしょう。

貴重な歴史資料から、ひもときます。

『日曜日の 文芸クラブ』

小手鞠 るい 著　講談社



「朝食のとき　なにげなく弟のとなりにすわった。ぷーんとにおう。たまらなくいいにおい。」

こっそりとお姉さんの乳液を使った小さい弟を書いた詩です。５５年ほど前、作者が中学生の時に書きました。言葉には時の流れをこえて、生き続ける力があります。ちょっとしたできごとを書くことから始めてみましょう。

『探そう！ 宇宙生命体　地球以外にも生き物はいる！？』

井上 榛香 著　日下部 展彦 監修
誠文堂新光社



誰もが一度は考える「地球以外に生き物はいるのかな？」という疑問。宇宙生命体の存在は、昔から多くの人々に研究され、現在では様々な分野を横断する「アストロバイオロジー」という研究分野になっています。

この本では最新の研究のほか、まだ見ぬかれらに向け地球から送り出されたメッセージも紹介されています。未知の世界への挑戦をのぞいてみましょう。

『オーサム！ 国語 塾』

清水 晴木 作　いつか 絵
岩崎書店



ぼくは意見をちゃんと言うのが苦手だ。特に反対の意思表示をするなんて、とてもできない。そのせいで、お母さんに言われるまま始めた習いごとが増えて、６つ目は国語専門の塾。今井先生は背が高くてスラっとしているけれど、クセが強そうで…。

国語塾に通って変わっていく小学生たちを描いた短編連作です。

『小学生のためのお仕事たんけん
パティシエの お仕事を見にいく』柴田書店 編　柴田書店

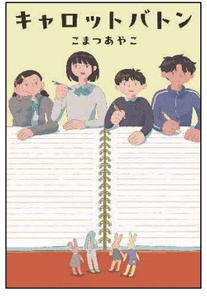


お菓子は好きですか？パティシエは、お菓子をつくる職人さんです。この本では、いろいろなお店のパティシエさんに、なぜパティシエになったのか、お菓子の勉強はどのようにしたかなどを聞いています。パティシエを目指す人にとって知りたい情報がいっぱいです。

お菓子のつくり方も教えてくれますよ。

『キャロットバトン』

こまつ あやこ 著
毎日新聞出版



５年生の友真は運動が苦手です。ある日の昼休み、自分のことを童話に書いてみることにしました。かけっこが苦手なカメが一番先に王子様にバトンをとどける話です。友真の童話に共感した６年生の咲絵が続きをリレーしようと提案し、仲間を二人募集します。

四人が書きつなぐ童話は、どんな結末になるのでしょうか。

『こねずみくん、ききいっぱつ！』

ヘルダ・デ・プレーター 作　テー・チョンキン 絵
鵜木 桂 訳　徳間書店



「ようこそ、こねずみくん。きみは、わたしの〈とくべつなおきゃくさま〉だ」いっしょに食事をしようとフクロウの家に連れてこられたこねずみくんは、とくべつといわれて、うれしくなります。

フクロウは、こねずみくんが探しているおじいちゃんのことも、きみだけが見つけることができるというのですが…。